

配置業界は塩井体制継続か 全配協が一般薬の遠隔販売に断固反対 富士薬品と南魚沼市が包括協定締結

(一社)日本置き薬協会

●配置業界紙「薬日新聞」6月27日号を転載

「会長辞任でけじめを」全配協配置部会幹事会 塩井全配協会長に自発的決断を要求

(一社)全国配置薬協会(塩井保彦会長)は6月21日、22日に名古屋市でブロック会長会議、配置部会幹事会、製薬部会幹事会、全配協理事会を開催した。いずれも業界紙等に非公開で行われたが、配置部会幹事会では、不適切製造発覚で多品目にわたる自主回収や多くの配置薬製品の製造出荷停止が現在も続いて配置薬業界に混乱と配置販売側に甚大な損害を与えている(株)廣貫堂の塩井保彦会長の全配協会長会長からの自発的辞任決断要求を圧倒的多数でまとめた。

廣貫堂製品出荷停止で甚大な被害が

関係者への取材によると、22日の配置部会幹部会では、「塩井氏が会長を務める(株)廣貫堂製品の多品目に及ぶ自主回収、製品の製造及び出荷の停止で配置薬業界は大変混乱し、壊滅的被害に遭っている配置部会会員も多く、また、日頃から法令遵守を会員に求めている全配協の会長に塩井氏がとどまるべきではない。キチンとけじめをつけるべきだ」として、全配協会長を自発的に辞任するよう塩井氏に求めることを圧倒的賛成多数で決めた。

(株)廣貫堂の不適切製造が発覚したのは昨年2021年10月。それから九か月ほど経過したが、大規模な自主回収と出荷停止で同社製品を多く扱ってきた配置販売業者には廃業を検討するところも。行政処分はまだ出てないが、近く出るのは間違いない、とされる。

一方、塩井氏は5月20日には、日本一般用医薬品連合会(略称 一般薬連)の会長に新たに就任している。富山県薬業連合会の副会長は5月25日に辞任。(株)廣貫堂においては代表取締役会長から代表権のない取締役会長に退いている。

(編集注)全配協会長について塩井氏はこれまで辞任意向は示していない。

「(株)富士薬品(配置薬)が南魚沼市と包括連携協定」

(株)富士薬品は6月24日「医療のまちづくりプロジェクト」を推進する新潟県南魚沼市とのあいだで「健康増進に関する包括連携協定」を締結し、同市役所において同社初の締結式を行った。

主な協定内容は、**1. セルフメディケーションの強化** 厚労省の定めにとり配置薬販売の営業員は原則として登録販売者の資格を有している。この専門知識を生かしてOTC医薬品の適正使用をはじめ地域住民の健康意識の向上に繋がる情報提供を行う。**2. 南魚沼市のハブとして健康情報を発信** 配置薬契約の顧客(3200軒)のもとを訪問する際に南魚沼市のハブとなり、健康情報の提供や健康診断の呼び掛け、事故・病気防止の啓発などを行う。また熱中症などの季節ごとの事故・病気防止の啓発を目的としたセミナー、イベントなども南魚沼市と共同で実施を検討していく。

3. 災害支援 災害発生時には市役所、市施設などへ防災備蓄品を無償提供する。また配置薬契約の顧客に向けて医薬品とともに災害時に欠かせない防災グッズ、備蓄品を要望に応じて用意するほか、南魚沼市からの防災・災害対策譲歩に関する情報を届ける。**4. その他** 高齢者等の見守りに関する取組においても連携するほか、住みやすい街づくりに向けて市と継続的に取組を協議。

(編集注)ドラッグストアではウエルシア薬局と坂戸市、スギ薬局と姫路市等がある

●配置業界紙「家庭薬新聞」6月25日号を転載

「全配協配置販売新戦略会議」一般薬の遠隔販売に断固反対

(一社)全国配置薬協会配置販売新戦略会議が6月22日に開かれ、(中略)政府・規制改革会議における一般医薬品販売の規制見直しについて日本フランチャイズチェーン協会(JFA)が提案する一般医薬品の遠隔販売に対し、全配協として断固反対の姿勢を示すとともに令和4年度に検討開始が示唆されていることから、検討の場に委員等として参加できるよう取り組んでいく方針が紹介された。